

平成29年度 環境学習関連事業実施状況

1 人材の育成と活用

機関名	事業名	内容	参加者数	実施日	実施場所
循環型社会推進課	環境教育指導法研修(環境教育指導者養成講座)	教育庁と連携し、環境教育の指導内容と指導方法に係る講座を開催した。環境教育全般に係る講義の後、学習指導案概略を作成して教員の実践能力を高めた。	31名	7月26日 7月27日	総合教育センター
循環型社会推進課	環境教育モデル校事業	環境保全活動の実践に取り組む高等学校(特別支援学校高等部を含む)をモデル校として指定し、環境問題の解決に向けた力や将来の環境保全活動のリーダーとしての力を備えた人材の育成を支援した。	4校 生徒175名	通年	各モデル校
循環型社会推進課	ちば環境学習応援団	講師派遣や施設見学、体験活動などに協力いただける事業者等を18件登録し、県のホームページのほか、ちば県民だより等で県民に紹介した。	18 (登録件数)	通年	県内
環境研究センター	環境講座の開催(指導者養成講座)	リーダー養成講座 ①はじめの一步〜この指とまれ〜(初心者向け) ②スキルアップ講座〜ひろげよう・つなげよう〜(中・上級者向け)第1回 ③スキルアップ講座〜ひろげよう・つなげよう〜(中・上級者向け)第2回	①16名 ②9名 ③10名	①9月20日 ②11月12日 ③11月25日	①東京都東京港野島公園(東京都大田区) ②打瀬ふれあい緑地(千葉市) ③千葉市生涯学習センター
総合教育センター	小・中学校自然体験活動研修(1組・2組)	野外活動における具体的な指導方法について体験・実習を通し指導力の向上を図る研修	県内の小・中・特別支援学校教員 44名	8月3日 8月4日	中央博物館
総合教育センター	海の生物観察実験研修	海辺の生物の観察、実験を通して、生物観察の基礎についての理解を深めるとともに、理科の指導力の向上を図る研修	県内の小・中・高等・特別支援学校教員 20名	8月7日	中央博物館分館 海の博物館

2 情報の提供

機関名	事業名	内容	実施・利用件数	実施時期	実施場所
自然保護課	生物多様性サテライト事業	集客施設、大学、企業内に常設コーナーとして生物多様性サテライトを設置して、生物多様性のパネル展示・パンフレット等の配布と地元の自然等の情報提供を行っている。	パネル展示 ニュースレターの配付 年5回	通年	県内12か所
自然保護課	生物多様性の普及啓発事業	市町村の環境フェア等における巡回パネル展示、エコメッセちばへの出展による生物多様性に関する情報提供を行っている。	巡回展17回	通年	県内
自然保護課	生物多様性の多様な主体への広報啓発事業(情報誌等の作成配布)	生物多様性センターのHPを運営して情報発信・情報提供の充実を図るとともに、ニュースレターを発行して県内市町村や図書館に配布している。	ニュースレターの発行5回 各回6,000部	5,7,10,1,3月末	県内
自然保護課	生命のにぎわい調査団事業	身近な生物や外来生物を報告してもらう「生命のにぎわい調査団」を運営し、提供された情報を基に、特定外来生物の生息分布図を作成して情報の還元を行っている。また、団員向けに困通信を発行し、情報提供をしている。	調査団員数 1,337名 報告件数累計 91,437件 (30.1末現在)	困通信発行年4回	県内
自然保護課(いすみ環境と文化のさとセンター)	環境学習施設の利用	ネイチャーセンター(展示、図書、視聴覚コーナー、工作室等を設置)、生態園、デイキャンプ場などでの自然環境と文化に関する情報の提供及び啓発を実施するとともに、センター地区を利用した環境学習の機会を提供している。	通年	通年	いすみ環境と文化のさとセンター
自然保護課(大房岬自然公園)	環境学習施設の利用	大房岬ビジターセンターでは、国定公園内に位置する大房岬の自然、地理、歴史、文化などに関する展示を行い、環境学習の素材を提供を行った。また、園内での危険生物等についての周知と対策について、インフォメーションセンター及びビジターセンターで掲示物を含め職員が啓発活動を行った。	通年	通年	大房岬自然公園
自然保護課(大房岬自然公園)	講師派遣	公園を訪れる団体等からの要請に応じ、公園のガイドツアーや磯遊びなどの自然体験の指導、海岸清掃や外来駆除などのボランティア活動を通じ、環境に対する説明等を行った。	13	通年	大房岬自然公園
循環型社会推進課	海岸漂着物発生抑制リーフレット・ポスターの作成・配付	海岸漂着物は県民生活に伴って発生するごみも多く漂着していることから、県内すべての地域における課題であることをPRするための小学生向けリーフレット・ポスターを作成・配付した。	リーフレット 18,500枚、ポスター 24枚印刷	12月〜3月	県内
循環型社会推進課	ちば環境学習応援団	講師派遣や施設見学、体験活動などに協力いただける事業者等を18件登録し、県のホームページのほか、ちば県民だより等で県民に紹介した。	18 (登録件数)	通年	県内
循環型社会推進課	水素を燃料として走る燃料電池自動車各種イベントでの展示・試乗	水素社会を見据え、地球温暖化対策や大気汚染防止対策の観点から、県や各市町村が主催・共催するイベントで排気ガスを出さず水のみを排出する燃料電池自動車の展示等を行った。	13回 (出展回数)	通年	県内
循環型社会推進課	循環型社会推進課ホームページによる省エネ・節電情報の提供	家庭や職場の省エネ・節電に役立つ参考情報をホームページで公開した。	一般	随時	千葉県ホームページ
環境研究センター	環境研究センター・環境だよりの発行	最近の環境問題や環境研究センターの研究内容をわかりやすく紹介する「環境だより」を発行した。	5回発行	5,7,10,12,2月	県内
環境研究センター	年報の発行	センターが行った調査研究業務の成果を取りまとめた年報をHPに掲載した。	1回	3月予定	千葉県ホームページ
環境研究センター	環境研究センターホームページによる情報の提供	環境に係る情報およびセンターの調査研究情報をホームページで公開した。	随時	随時	千葉県ホームページ
環境研究センター	環境学習用教材の貸出	啓発機会を提供するため、環境学習用機材の貸出を実施した。	5件 (1月末現在、今後予定なし)	通年	環境研究センター
環境研究センター	環境研究センター環境学習施設の利用	図書コーナー、展示のできるフリースペース、交流コーナーを備え、環境に関する相談、資料等の提供など啓発事業を実施した。	1200(見込み) (1月末1030名)	通年	環境研究センター
環境研究センター	水生生物による水質調査	カゲロウ、サワガニなど川にすむ水生生物を指標とした大人から子どもまで参加できる水質調査で、身近な川の水質を知ってもらうとともに、その結果を水質の長期的、総合的な評価に役立てた。	子ども〜一般	5月から9月	県内(参加者が調査した水域)

機関名	事業名	内容	実施・利用件数	実施時期	実施場所
水産総合研究センター内水面水産研究所	内水面漁業環境保全・漁業調整事業(水辺環境の普及啓発)	小中学生を含む一般県民に対し、内水面漁業や水産動植物に関する情報、水辺環境の保全、魚介類の増殖技術に関する技術指導などを「魚にやさしい水辺づくり相談窓口」の開設や「展示室」の公開により情報提供を行った。	387名(11団体) H30.1時点	通年(随時)	佐倉市
水道局計画課	おいしい水づくり計画リーフレット	水道局で取組んでいる「おいしい水づくり計画」の概要を周知するため、出前講座、浄水場見学会などの各種イベント等で配布した。	36,000部	随時	給水区域内
水道局計画課	ポタリちゃんの大冒険	水道局のマスコットキャラクター「ポタリちゃん」により、「水の大切さ」などを周知するため、出前講座、浄水場見学会などの各種イベントで配布した。	30,500部	随時	給水区域内
水道局総務企画課	水道局環境報告書	水道局の環境負荷の状況、環境会計情報、環境保全の取組等を冊子にして中学校、公立図書館等に配布、HPにて公開。	給水区域の中学校や公立図書館等に約900冊配付	年1回	冊子:給水区域 水道局ホームページ
水道局総務企画課	広報用パンフレット「ちばの水道」「わたしたちの水道」「千葉県営水道」	「ちばの水道」は大人向け、「わたしたちの水道」は小学校向けの浄水場見学者用パンフレットであり、浄水工程などを記載。「千葉県営水道」は千葉県水道局の歴史と概要を記載し、英語版も作成。	配布対象 浄水場見学者: 約20,000人 イベント等:約 1,000人	通年	給水区域
水道局総務企画課	水道局広報用DVD	上水道事業の概要や各浄水場を紹介するDVDを作成し、浄水場見学会などで視聴、DVD貸出、県ホームページで公開。	浄水場見学会 年間約300件、 見学者約20,000人	随時	各浄水場 千葉県ホームページ

3. プログラム・教材の開発

機関名	事業名	内容	回数・発行部数	実施時期	実施場所
水政課	「水のはなし」の作成	水の重要な役割、水資源の貴重さ及び有限性など、千葉県に関する広範な内容を掲載した資料を作成し、ホームページで公開した。	年1回	通年	千葉県ホームページ
水質保全課	環境学習副読本「印旛沼ってどんな沼」の発行	印旛沼流域の小中学校を対象とした環境学習に利用するための副読本を配布した。	小学生	随時	印旛沼流域各市町
自然保護課(大房岬自然公園)	環境学習プログラムの実施	小学生を対象とした自然調査のプログラム(解レンジャー)や、公園内に生息する野生動物を観察する夜の生きものツアーなどを実施し、自然についての体感と理解を深めるイベントを行った。	15	通年	大房岬自然公園
環境研究センター	環境啓発冊子の発行	環境啓発冊子として、一般県民を対象とした「環境白書用語解説付きメモ帳」を発行した。	2000部	3月(予定)	県内
水道局計画課	ポタリちゃんの大冒険	水道局のマスコットキャラクター「ポタリちゃん」により、「水の大切さ」などを周知するため、出前講座、浄水場見学会などの各種イベントで配布した。	30,500部	随時	給水区域内

4. 拠点の連携と場の活用

機関名	事業名	内容	参加者数・件数	実施日	実施場所
循環型社会推進課	環境学習拠点連携会議の開催	ふなばし三番瀬環境学習館において視察研修を行うとともに、各施設における課題、その解決方法などの情報交換を行い、環境学習の質の向上を図った。	21名	11月8日	ふなばし三番瀬 環境学習館
循環型社会推進課	体験の機会の場の認定	申請なし。	—	—	—

5. 学習機会の提供(講習会、出前講座等)

機関名	事業名	内容	参加者数	実施日	実施場所
環境政策課	三番瀬ミーティングの開催	多様な主体から意見聴取する場として、学識経験者、漁業関係者、地元住民、NPOなどが参加する「三番瀬ミーティング」を開催した。	22人	11月18日	市川市
環境政策課	親子で学ぶヒートアイランドと熱中症対策教室	小学生(3~6年生)と保護者を対象とし、ヒートアイランド対策及び熱中症予防対策を学ぶ教室を開催した。	105人	7月31日	千葉市
水質保全課	浄化槽講習会の開催	公共用水域における汚濁負荷物質の低減に向け、合併処理浄化槽の普及促進と、浄化槽の適正な維持管理の講習会を県民を対象に開催した。	105人	11月11日 11月18日 11月25日	野田市役所、匝瑳市市民ふれあいセンター、印西市中央公民館
自然保護課	生物多様性の普及啓発事業	生物多様性に関する講師の派遣 25回(見込み)	約500名(見込み)	随時	県内
自然保護課	生物多様性の企業向けセミナーの開催	企業と生物多様性セミナー	30名(見込み) 43名 70名(見込み)	3月17日 10月24日 3月14日	県立中央博物館・生態園 県立中央博物館 講堂
自然保護課	生命のにぎわい調査団事業	生命のにぎわい調査団現地研修会 平成29年度生命のにぎわい調査フォーラム	25名 100名(見込み)	10月17日 3月10日	袖ヶ浦市内 県立中央博物館 講堂
自然保護課	インターンシップ実習生の受け入れ	県庁インターンシップ実習生制度を活用したインターンシップ生の受け入れ(受け入れ期間:5日間)	14名	平成29年8月~ 10月	生物多様性センター
自然保護課(いすみ環境と文化のさとセンター)	環境学習施設の利用	ネイチャーセンター(展示、図書、視聴覚コーナー、工作室等を設置)、生態園、デイキャンプ場などでの自然環境と文化に関する情報の提供及び啓発を実施するとともに、センター地区を利用した環境学習の機会を提供している。	8,800人 (見込み)	通年	いすみ環境と文化のさとセンター

機関名	事業名	内容	参加者数	実施日	実施場所
自然保護課(いすみ環境と文化のさとセンター)	環境学習の実施	田植え(5月)、稲刈り(9月)、お飾りづくり(12月)など、季節に沿った行事を毎月実施している。	1,500人 (見込み)	4月15日 4月30日 5月5日,18日,20日,24日,27日 6月17日 7月17日,22日,29日 8月5日,9-11日 9月5日,18日 10月8日,21日,28日,29日 11月5日,11日,18-26日 12月16日,22日,23日,24日 1月14日,20日,28日 2月4日,10日 3月4日,17日	いすみ環境と文化のさとセンター
自然保護課(大房岬自然公園)	環境学習プログラムの実施	小学生を対象とした自然調査のプログラム(岬レンジャー)や、公園内に生息する野生生物を観察する夜の生きものツアーなどを実施し、自然についての体験と理解を深めるイベントを行った。	181名 (見込み)	5月14日 6月10日 7月16日 7月22日 7月23日 7月29日 8月14日 8月19日 9月2日 9月9日 9月10日 11月12日 3月18日	大房岬自然公園
自然保護課(大房岬自然公園)	講師派遣	公園を訪れる団体等からの要請に応じ、公園のガイドツアーや磯遊びなどの自然体験の指導、海岸清掃や外来種駆除などのボランティア活動を通じ、環境に対する説明等を行った。	760名	5月8日 5月16日 5月23日 5月25日 5月30日 6月7日 6月26日 8月6日 8月7日 8月8日 11月10日 11月11日 11月28日 2月3日	大房岬自然公園
自然保護課(行徳鳥獣保護区)	環境学習施設の利用	行徳鳥獣保護区内において自然観察会を行った。	のべ627人 (12月末時点)	通年	行徳鳥獣保護区
循環型社会推進課	3R推進シンポジウム	食品ロス削減を推進するため、食品ロスの削減に取り組む団体の事例発表と、「減らそう！食品ロス」をテーマとしたパネルディスカッションを実施した。	約70名	10月9日	幕張メッセ
循環型社会推進課	九都県市エコドライブ講習会(エコトレーニング)	自動車の運転方法を工夫することで環境負荷の低減、燃費の改善及び交通事故防止対策につながる一石三鳥の取組である「エコドライブ」の講習会を、九都県市、(一社)日本自動車連盟(JAF)及び県内自動車教習所と連携して開催した。	12名(6月) 16名(11月)	6月、11月	千葉県自動車練習所(6月) 船橋中央自動車学校(11月)
循環型社会推進課	バイオマス利活用研修会の開催	県民、事業者、市町村等のバイオマスに対する理解と協力を促進するため、取組事例の紹介等を行う研修会を開催した。	48名	1月17日	千葉市ビジネス支援センター会
循環型社会推進課	千葉県地球温暖化防止活動推進員出前講座	県内各地域で開催される研修会や講習会等に千葉県地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣した。	5,139 (H30.1.31現在)	随時	県内
環境研究センター	研修生・インターシップの受け入れ	県庁インターンシップ研修生を受け入れた。	5名 (①1名、②3名、③1名)	①8月7～18日 ②8月7～23日 ③8月21日～9月5日	環境研究センター
環境研究センター	講師等の派遣事業	県、市町村、民間団体が開催する研修会、講習会等に講師を派遣した。	45回(見込み) (1月末41回)	随時	県内
環境研究センター	環境研究センター施設見学・講義受け入れ	環境研究センター施設見学や講義を行い、環境学習を支援した。	11回 (1月末現在、今後予定なし)	随時	環境研究センター
環境研究センター	環境研究センター一般公開	環境月間の関連行事として、研究室の一般公開を実施した。	177名	①稲毛地区(地質環境研究室) 6月5～11日 ②稲毛地区(水質環境研究室) 6月5～9日 ③市原地区 6月5～9日	環境研究センター

機関名	事業名	内容	参加者数	実施日	実施場所
環境研究センター	環境講座の開催	<p><子ども向け講座></p> <p>①子どもエコクラブサポーター交流会 ②親子で施設見学 ～汚れを落とす仕組み～ ③夏休み 親子で体験～川・里山で生き物探し～ ④気象キャスターと体験する「地球温暖化」 ⑤子ども環境会議ちば <一般県民向けの講座> ⑥東京湾の人工干潟 ⑦南極の体験を活かした住まいづくり ⑧キノコから見てくる自然～キノコ探しを体験してみよう～ ⑨気候変動の適応策-気象防災- ⑩環境研究センターにおける様々な調査研究等の紹介 ⑪化学物質ってなあに？～正しく知ってかきこく暮らし～ ⑫冬鳥に会いに行こう！</p>	<p>①8名 ②45名 ③42名 ④31名 ⑤68名 ⑥41名 ⑦18名 ⑧41名 ⑨55名 ⑩39名 ⑪26名 ⑫27名</p>	<p>①7月9日 ②7月28日 ③8月4日 ④8月23日 ⑤10月9日 ⑥7月24日 ⑦9月12日 ⑧10月12日 ⑨10月27日 ⑩11月18日 ⑪12月2日 ⑫1月7日</p>	<p>①きぼーる(千葉市) ②ライオン(株)千葉工場(市原市) ③千葉県いすみ環境と文化のさとセンター(いすみ市) ④南行徳市民センター(市川市) ⑤兼張メッセ国際会議場(千葉市) ⑥国土交通省横浜港湾空港技術調査事務所(神奈川県横浜) ⑦ミサワホーム(株)MISAWA PARK TOKYO(東京都杉並区) ⑧君津市農芸 ⑨千葉市生涯学習センター ⑩船橋市勤労市民センター ⑪浦安市民プラザ</p>
産業振興課	千葉県次世代エネルギーパーク	県民のエネルギーに関する関心を高め、理解を深めるため、県内のエネルギー関連施設を活用し、エネルギー全般の情報発信を行った。	人数は把握していない	随時	各協力施設
水産総合研究センター内水面水産研究所	内水面漁場環境保全・漁業調整事業(水辺環境の普及啓発)	市主催の公開講座等に講師を派遣するとともに、インターンシップ研修生や職場体験学習の生徒を受け入れ、内水面漁業や水産動植物に関する情報、水辺環境の保全に関する啓発を行い、環境学習を支援した。	講師派遣による出前講座 40名 インターンシップ研修生2名 職場体験学習 2名	7月15日 8月21日～9月1日 10月24日～25日 11月7日～8日	しづ公民館(佐倉市) 内水面水産研究所(佐倉市) 内水面水産研究所(佐倉市)
水道局計画課	水道出前講座	紙芝居や実験などを通して、水道水についての正しい知識や水道局の安全でおいしい水づくりへの取組みについての理解を深める。	2,700人	随時	給水区域内
手賀の丘少年自然の家	手賀沼をしろう	自然豊かな手賀沼の鳥や魚たちを我孫子市鳥の博物館の職員から学んだり、手賀沼の船上見学を通じて、環境について考える。	一般	5月	手賀沼ほとり及び船上
手賀の丘少年自然の家	おーい！冬鳥くん	広々とした手賀沼の水辺や水田の風景の中を散策して、バードウォッチングをしながら環境について考える。	一般	2月	手賀沼周辺
水郷小見川少年自然の家	カヌーミニツアーリング～お花見編	黒部川通り、水上から岸の桜を眺める半日のツアーリング。川の現状や雰囲気を知る。中止(悪天候のため)	一般	4月9日	水郷小見川少年自然の家、黒部川
水郷小見川少年自然の家	カヌーミニツアーリング～黒部大橋編	黒部川を下り、半日で帰ってくる、黒部川の現状や雰囲気を知る。	一般	6月25日	水郷小見川少年自然の家、黒部川
水郷小見川少年自然の家	カヌーミニツアーリング～小堀川編	親子を対象に、利根川から黒部川に水を引き入れるための小堀川をさかのぼり、その成り立ちと役割について知る。	親子	10月15日	水郷小見川少年自然の家、黒部川、小堀川
水郷小見川少年自然の家	カヌーツアーリング～源流編	黒部川をさかのぼり、源流を目指す。街の歴史とともに川の流れ・護岸の変化などを知る。中止(悪天候のため)	一般	10月10日	水郷小見川少年自然の家、黒部川
水郷小見川少年自然の家	カヌーツアーリング～利根川編	黒部川をさかのぼり、源流を目指す。街の歴史とともに川の流れ・護岸の変化などを知る。	一般	10月10日	水郷小見川少年自然の家、黒部川
水郷小見川少年自然の家	カヌーツアーリング～阿玉川開門～利根川と一日ツアーリングし、開門の意味や黒部川と利根川の違い、現状や雰囲気を知る。	黒部川～導水路～阿玉川開門～利根川と一日ツアーリングし、開門の意味や黒部川と利根川の違い、現状や雰囲気を知る。	一般	10月10日	水郷小見川少年自然の家、黒部川
水郷小見川少年自然の家	小見川ネイチャーチャレンジ	小学生・中学生を対象に行った。カヌーツアーリング。班ごとに風や川の流れを感じ黒部川を10kmツアーリングし、川の現状や雰囲気	小・中学生	8月18日～20日	水郷小見川少年自然の家、黒部川
水郷小見川少年自然の家	シニアネイチャーカレッジ(ハイキング)	まほろばの里からたくさんのお寺を巡り、国の天然記念物「府馬の大クス」を目指す約12kmのハイキング。小見川周辺の歴史や自然に触れる。	シニア	3月27日	水郷小見川少年自然の家、小見川市街、城山公園
水郷小見川少年自然の家	RAC学校リーダー養成講座	水辺活動の実際と環境学習の方法について学ぶ。中止(参加者不足)	一般・指導者	5月28日	水郷小見川少年自然の家、黒部川
水郷小見川少年自然の家	黒部川クリーン作戦	地域の市民サークル中学校・高校、香取市、県土木事務所などと「黒部川環境保全実行委員会」を立ち上げ、黒部川のゴミ拾いを中心とした環境についての活動を展開する。	一般	11月25日	水郷小見川少年自然の家、黒部川河畔
水郷小見川少年自然の家	シニアネイチャーカレッジ(野鳥観察)	小見川少年自然の家周辺の野鳥の生態を講義と観察会で学ぶ。	シニア	11月12日	水郷小見川少年自然の家、黒部川河畔
水郷小見川少年自然の家	おみっこキッズ②～秋の自然で遊ぼう～	葉っぱプールやネイチャーゲーム、焼き芋などを通し、秋の自然に触れて遊び、自然への興味関心を深める。	幼児	12月9日	水郷小見川少年自然の家
君津亀山少年自然の家	エコアドベンチャー	鉄づくり実験やエコセメントづくりを通して、産業とゴミの関係について学ぶ。県内学校への出前講座も可能。	一般	随時	君津亀山少年自然の家(出前)
君津亀山少年自然の家	環境教育ゲーム	ゲーム活動を通して、野生動物や水資源に対する認識・知識・理解を深める。県内学校への出前講座も可能。	一般	随時	君津亀山少年自然の家(出前)
君津亀山少年自然の家	森のスライドショー	植物・動物のスライドショーや鳥の羽、動物の骨格等を紹介することを通して、自然に対する興味を高める。	一般	随時	君津亀山少年自然の家
君津亀山少年自然の家	自然発見ゲーム	五感を使ったゲーム活動を野外で楽しむことにより、自然に対する感性を高める。	一般	随時	君津亀山少年自然の家
東金青年の家	春の里山 タケノコ掘り	里山でタケノコ掘り体験と里山保全の大切さの理解を図る。	小学生から一般	4月30日	東金市内

機関名	事業名	内容	参加者数	実施日	実施場所
東金青年の家	公平の古墳を探ろう	美しい公平村を目指している地元団体と連携して、里山に存する「家の子古墳」を歩き、古墳の勉強を行うとともに、里山の美化を図りつつ古墳の存在を活かす事業内容とする。	大学生・一般	12月2日	東金市内
鴨川青年の家	富浦多田良海岸で地引き網体験	地元漁師の協力を得て伝統的な地引き網体験を行う中で自然環境について考える。	小学生	6月4日	鴨川市内
鴨川青年の家	磯の生き物を観察しよう	千葉県立中央博物館分館海の博物館の研究者を講師に、磯の生き物観察を行いながら、自然を大切にすることを育てる。	小学生	7月9日	海の博物館前海岸(勝浦市)
鴨川青年の家	冬の里山を歩こう	地元ガイドの説明を聞きながら水仙の咲く高鶴山登山を通して環境について考える。	一般	1月13日	鴨川市内
鴨川青年の家	農業体験&バーベキュー	地元農家の協力を得て農業体験を行う中で、自然環境について考える。	小学生	3月17日	鴨川市内
中央博物館	生態園観察会	中央博物館に併設されている生態園で、植物や昆虫、プランクトンなどに関する自然観察を行った。	160(見込み)	4月29日 5月5日,18日 9月9日 10月19日 2月15日	中央博物館(千葉市)
中央博物館	環境教育講座	講堂で水辺の鳥類とホタルに関する講座をそれぞれ行った。	40(見込み)	4月1日,3月11日	中央博物館(千葉市)
中央博物館	山のフィールドミュージアム	君津市清和地区等をフィールドに、自然や環境について学ぶ観察会等を実施した。	183	4月15日 5月20日 6月17日 7月15日,16日 8月19日 9月16日 11月19日	君津市
中央博物館	千葉県自然保護講習会	谷津田の自然と野鳥のフィールドサインについて、講堂と生態園を使って講習会を実施した。	61	10月28日 12月2日	中央博物館(千葉市)
中央博物館	企画展「きのこワンダーランド」	森ときのこと人々の文化。この不思議な関係を多方面から紹介した。	36,652	7月22日 ~9月10日 9月16日 ~12月27日	中央博物館(千葉市)
中央博物館	春の展示「ところ変われば備えも変わる あなたの街と自然災害」	私たちが住む身近な地域のなりたちと自然災害をテーマにした展示や観察会、講演会を実施した。	10,000(見込み)	3月3日 ~5月27日	中央博物館(千葉市)
中央博物館	生態園トビックス展「身近な藻類・車軸藻」	水田や湖沼など淡水から汽水に生育する、緑色をした大型の藻類、車軸藻を紹介した。	8,355	7月15日 ~9月10日	中央博物館(千葉市)
中央博物館	生態園トビックス展「生態園のきのこ」	生態園の森の成熟とともに変化してきたきのこ相や、雑木林のきのこの特徴について紹介した。	20,300(見込み)	9月16日 ~2月25日	中央博物館(千葉市)
中央博物館	自然誌フェスタ千葉	房総の自然について当館と連携して調査研究を行っている団体が一堂に会し、展示やイベントを通じて成果を来館者に紹介した。	2,538	11月3日	中央博物館(千葉市)
中央博物館 大利根分館	講座「水郷の自然と歴史」	水郷地域の自然と人々の暮らしについて、人文、自然など様々な視点からアプローチする講座を実施した。	127(見込み)	4月2日 6月3日,24日 8月12日 9月9日 3月3日	中央博物館 大利根分館 (香取市)
中央博物館 大利根分館	川のフィールドミュージアム「生きもの調査隊」	香取市の水郷地帯をフィールドに、鳥類などの観察会・報告会を行った。	12(見込み)	4月2日 3月3日	中央博物館 大利根分館 (香取市)
中央博物館 大利根分館	企画展「ウナギとサケ」	海と川を行き来する不思議な回遊魚、ニホンウナギとサケの生態や漁法、また民俗信仰・行事・料理などを紹介した。	4,487	5月27日 ~6月25日	中央博物館 大利根分館 (香取市)
中央博物館 大利根分館	夏休み展示「発見！水辺のムシたちと水草」	夏休み期間中、水辺の昆虫や水草などの動植物を展示で紹介した。	1,165	7月15日 ~8月31日	中央博物館 大利根分館 (香取市)
中央博物館 大多喜城分館	博物館セミナー「大多喜を学ぶ」きのこ観察会	大多喜城分館を散策しながら、自生しているきのこを探し、その種別を同定する観察会を実施する。	8	6月17日	中央博物館 大多喜城分館 (大多喜町)
中央博物館分館 海の博物館	海の生きものを観察する各種行事	博物館の目の前の磯で、海の生きものを観察する観察会やフィールドトリップを実施した。	243	年間	中央博物館分館 海の博物館 (勝浦市)
中央博物館分館 海の博物館	海の生きものに関する展示会	取蔵資料展「エビざんまい」、マリンサイエンスギャラリー「房総の海の幸」といった、海の生きものを紹介する展示会を実施した。	38,000(見込み)	7~9月、2~3月	中央博物館分館 海の博物館 (勝浦市)
現代産業科学館	科学館わくわく教室「LEDミニライトをつくらう」	電気省エネについて学び、LEDライトを作成した。	小・中学生	7月16日	現代産業科学館 (市川市)
現代産業科学館	タリップ号乗車会	太陽光発電について学び、電気自動車に乗車した。	一般	4月16日 5月5日 6月17日 9月9日 3月9日	現代産業科学館 (市川市)
関宿城博物館	河川敷のいきものがさし	利根川・江戸川の河川敷に生息するいきものの観察を行った。	17人	8月6日 10月21日	関宿城博物館 (野田市)
関宿城博物館	パネル展「カスリーン台風から70年」	カスリーン台風襲来から70周年にちなみ、当時の被害状況や洪水のメカニズムを紹介した。	19,995人	7月4日 ~9月28日	関宿城博物館 (野田市)
関宿城博物館	博物館セミナー②「カスリーン台風70年。一局地的大雨や台風から身を守るために……」	今年はカスリーン台風による大水害から70年という節目の年にあたることから、災害を起こす恐れのある気象(主に関東平野部)について、セミナーを実施した。	21人	9月17日	関宿城博物館 (野田市)

機関名	事業名	内容	参加者数	実施日	実施場所
関宿城博物館	博物館セミナー①「カスリーン台風から70年」シリーズ第二弾:「利根川の主な水害と治水対策の経緯」	今年はカスリーン台風による大水害から70年という節目の年にあたることから、江戸時代以降の利根川の主な水害の歴史と幕府や明治以降の政府が取り組んできた治水対策について、セミナーを実施した。	13人	11月26日	関宿城博物館(野田市)
関宿城博物館	パネル展「水塚」	関宿城周辺や埼玉平野に建てられた水塚の形態や分布・役割について紹介した。	6,287人	12月7日 ～1月12日	関宿城博物館(野田市)
関宿城博物館	パネル展「河川敷のいきもの 夜編」	江戸川流頭部の河川敷に見られる草花や昆虫などの夜の様子について紹介した。	28,000人(見込み)	2月20日 ～4月22日	関宿城博物館(野田市)
房総のむら	里山観察会	一般を対象に5回実施した。①春の植物 ②夜の虫たち(秋) ③野生のきのこ ④秋の植物 ⑤コケ植物	①14人 ②9人 ③14人 ④8人 ⑤9人	①5月20日 ②9月9日 ③10月15日 ④10月21日 ⑤11月25日	房総のむら(栄町)
房総のむら	子どものための里山観察会	親子を対象に2回実施した。①夜の虫たち(夏) ②里山の虫たち(夏)	①15人 ②7人	①7月8日 ②7月22日	房総のむら(栄町)

5 学習機会の提供(イベント、ポスターコンクール等)

機関名	事業名	内容	参加者数	実施日	実施場所
水政課	「水の大使2017」行事	県内の小学生が「水の大使」として、八ッ場ダムが建設される群馬県長野原町を訪ね、ダムにより水没する地域の小学生との交流会などを通して、「水の貴重さ、大切さ」を学んだ。	県内小学生(4～6年生)及び保護者 20組40名	8月8日～10日	群馬県長野原町
水政課	全日本中学生水の作文コンクール	「水の日」及び「水の週間」関連行事の一環として、次代を担う中学生を対象に作文コンクールを実施し、優秀な作文について表彰式を執り行った。	中学生627名	募集期間3月1日～5月9日 表彰式8月3日	本庁舎5階大会 議室
自然保護課	愛鳥週間行事(観鳥会・ポスターコンクール)	①愛鳥週間(5月10日～5月16日)期間中に、野鳥の専門家と一緒に探鳥地を散策し、野鳥等の自然の生物を観察してもらい、鳥獣保護思想の普及啓発を図る。 ②愛鳥思想の高揚を図るとともに、入賞作品の展示により一般県民への野鳥保護思想の普及啓発を図ることを目的にポスター作品を募集し、優秀作品を表彰。	①雨天中止 ②参加者 4,587名 入選作品数 58作品	②表彰日 8月1日【展示】 8月22日 ～8月28日 9月22日 ～9月29日 11月4日 ～11月5日	②ア・そごう千葉店 イ・県庁内 ウ・ジャパンパレードフェスティバル(我孫子市)
循環型社会推進課	海岸漂着物発生抑制対策イベントの実施	—	—	—	—
循環型社会推進課	3R推進事業	県民等を対象とした3Rの普及・啓発を図るため、県内各地で開催されるイベント等においてリーフレット等を活用した啓発、広報活動等を実施するとともにアンケートを実施した。	1,147名(回答数)	通年	県内
循環型社会推進課	環境月間ポスター作品の募集・表彰	環境月間の作品(ポスター)を募集し、その中から特に優秀な作品に対して表彰するとともに、作品をららぽーと TOKYO-BAYにおいて展示するなど環境保全意識の普及啓発に活用した。	751点(応募数)	6月1日(表彰式)	県庁(表彰式)
循環型社会推進課	千葉県環境大使と進める環境保全事業	県民の環境保全に関する意識の高揚を図るため、一宮町と合同開催により清掃活動及び講演会を実施した。	197名(清掃活動) 160名(講演会)	11月25日	一宮町
循環型社会推進課	エコメッセちばの開催	持続可能な社会作りのため、環境への意識を高め、環境保全行動を促進することを目的に、環境活動見本市であるエコメッセを開催し、庁内12所展覧した。	8,000名	10月13日	幕張メッセ
循環型社会推進課	水素を燃料として走る燃料電池自動車の各種イベントでの展示・試乗	水素社会を見据え、地球温暖化対策や大気汚染防止対策の観点から、県や各市町村が主催・共催するイベントで排気ガスを出さず、水のみを排出する燃料電池自動車の展示等を行った。	13回(出展回数)	通年	県内
環境研究センター	水生生物による水質調査	カゲワ、サワガニなど川にすむ水生生物を指標とした大人から子どもまで参加できる水質調査で、身近な川の水質を知ってもらうとともに、その結果を水質の長期的、総合的な評価に役立てた。	子ども～一般	5月から9月	県内(参加者が調査した水域)
水産総合研究センター内水面水産研究所	内水面漁場環境保全・漁業調整事業(水辺環境の普及啓発)	印旛沼流域環境・体験フェアに出席し、内水面漁業や水産動植物に関する情報、水辺環境の保全に関する啓発を行うことにより、環境学習を支援した。	80名	10月28日	佐倉ふるさと広場(佐倉市)
河川環境課	印旛沼流域環境・体験フェア	印旛沼の持つ魅力及び印旛沼流域水循環健全化の取組みを住民に広く周知するため、Eポート等の水辺体験や環境保全活動のパネル展等を実施した。	約800人	10月28日(29日は雨のため中止)	佐倉ふるさと広場向かい側
公園緑地課	県庁緑のカーテン 苗の植付けイベント	ヒートアイランド対策としての屋上・壁面緑化の効果について知ってもらうとともに、実際に緑のカーテンの苗を植え付けてもらうことで、都市緑化やヒートアイランド現象についての学習の機会を提供する。	小学生	5月頃(年1回)	県庁
葛南土木事務所	真間川流域総合治水対策協議会 絵画コンクール	総合治水対策の推進にあたり、地域に住む人々に治水や河川環境の保全の取り組みについて理解し協力を得る必要があることから、次代を担う子供達である小学生を対象に治水対策や河川愛護への理解を深めるため、絵画コンクールを実施。	625作品	2月5日	江戸川下水道事務所
水道局総務企画課	水道週間ポスター・標語コンクール	水道について広くお客様に知っていただき、水道事業が今後も発展していくことを目的とし、毎年「水の大切さ」や「くらしを支える水道水」を呼び掛けるポスターまたは標語を募集し、ポスター493点、標語1,372点の応募があった。	合計1,865点	年1回	県内

6 調査研究

機関名	事業名	内容	対象者数	実施時期	実施場所
環境研究センター	環境学習に関する調査	各種講座でのアンケート調査結果をもとに、事業の課題や今後の方向性を検討するため、データ解析・取りまとめを行った。	各主体(アンケート協力者)	通年	県内